



JARIC NEWS

2017 DECEMBER

Index

P 2-3 東京モーターショー

P 4 リボンキャンペーン

P 5 ドライブレコーダー【DR】

P 6-7 TECHNICAL INFORMATION
「スバルの歩行者保護エアバッグって？」

P 8 地区別協議会 平成29年度
JARIC地区別協議会が開催されました
コグニビジョン株式会社からのお知らせ



第45回

東京 モーターショー 2017



「第45回東京モーターショー2017」が10月27日（金）から11月5日（日）までの10日間、有明の東京ビッグサイトに
おいて開催されました。今回のショーは「世界を、ここから動かそう。BEYOND THE MOTOR」をテーマに、全ての国内
メーカー14社15ブランド及び海外メーカー13社19ブランドを含む153社・団体が出展、多くのワールドプレミア・ジャ
パンプレミアを含む380台が展示されました。

車両の展示においては、ガソリン、ディーゼル、ハイブ
リッドなども多く展示されていましたが、自動車メーカー
や自動車部品メーカーのプレス向け説明会では「自動運
転」、「コネクティビティ」、「EV」の3つのキーワードにつ
いて多く解説されていました。また、部品・機械器具・自動
車関連サービスの展示においても、多くの新しい技術や
サービスが披露されました。さらに今回の東京モーター
ショーでは、自動車産業の枠を超えて、さまざまなアイデ
アやテクノロジーを取り入れた、シンボルイベント「TOKYO

CONNECTED LAB 2017」が開催されました。

来場者数は一般公開日直後の週末に台風22号の影響
を受け、荒天となったこともあり、前回（2015年 第44回
ショー：812,500人）に比べ94.9%の771,200人。4人に
一人が女性24.1%（前回17.7%）であり、また15歳～39
歳までの来場者が大幅に増加し51.3%（前回42.2%）と
半数を占め、女性来場者と若者の来場者が顕著に増加し
たショーとなりました。

未来のモビリティ社会をテーマに、世界最先端のナレッジが集結！

「TOKYO CONNECTED LAB 2017」

くらしや社会とクルマがつながる、未来のモビリティで、
主催者テーマ展示にて、わかりやすく体験しながら、来場
者と考えていく3つの参加型のプログラムを実施していま
した。その1つである大きなドーム型のダイナミックな映
像空間で未来の東京の街やモビリティの姿を多くのの方
々に体感頂いた「THE FUTURE」では、スマートフォンアプリ
で参加者のアンケート結果（28,000人）を蓄積。28,000
人の皆様よりご回答いただき、来場者の方々が求める未
来のモビリティ社会像が示されました。

（※モビリティ：乗り物、交通手段）

THE FUTURE

参加者への質問を通して人々がどんな未来を望んでい
るのかを可視化。巨大なドーム内いっばいに映像を映し
出すインタラクティブ型での展示がされました。想定される
「6つの未来」をベースに、回答から読み取れる志向を分
析し、参加者がまさに求めている未来モデルをリアルタイ
ムに生成していき、東京モーターショーへの来場者志向が
リアルタイムに反映される映像が展開されました。

樹脂製ウィンドウについて

車両軽量化の有効な手段として期待されている「樹脂製ウィンドウ」には、熱可塑性樹脂であるポリカーボネート樹脂が使用されており、従来の一般的なガラス製ウィンドウと比較すると、次のようなメリットが挙げられます。

- ・樹脂化によりガラス比、約40～50%の軽量化
- ・防護盾などに使用される靱性が高い素材であるため、事故時の窓ガラスの割れによる乗員の車外放出の防止や、窓ガラスを割っての車上狙いの防止
- ・強い曲げ形状およびルーフやスポイラーに合わせた3次元形状が可能となり、サイドまで一体で見切りの無い

デザインなど、自由度の高い新たなスタイリングの創造が可能

これまでの樹脂製ウィンドウは、ワイパー作動時やパワーウィンドウ昇降時などの耐摩耗性・耐スクラッチ性に課題がありましたが、現在では表面のハードコーティング層の性能を向上させ、製品化された樹脂製ウィンドウ（豊田自動織機製）が、トヨタのプリウスαのパノラマルーフ（メーカーオプション）や、トヨタ86の限定車（TOYOTA 86 GRMN）のクォータウィンドウおよびリヤウィンドウなどに採用されています。



次世代タイヤ（エアレスタイヤ）の参考出品について

住友ゴムでは、自動車用エアレスタイヤを展示していました。

130年前に空気入りタイヤを発明したダンロップでは、自動運転化やシェアリングエコノミーが進展するのに伴い、タイヤの空気圧管理などのメンテナンス意識が低下するで

あろうことを見越して、空気を使わないエアレスタイヤを作り、ドライバーがタイヤパンクの心配や内圧管理の手間から解放されることにより、安心して安全な移動の実現を目指しています。



リボンキャンペーン

J A 共済では、資源の有効利用や地球環境の保護を目的とした運動を「リボンキャンペーン」と名づけ、毎年実施しており、今年度は「エコな未来へ行こう、リサイクルパーツと。」をキャッチフレーズに展開しています。

この運動では、事故の修理のときばかりでなく、広く一般的な修理や車検などのときにも、クルマの損傷箇所を、新品と交換せずには補修していただいたり、リサイクル部品を使っていただけるようポスター等を作成、啓発活動を行っています。

また、環境保護が大切なのももちろんですが、クルマのオーナーであれば誰しも、修理などの出費は、「できるだけ低く抑えたい!」というのが本音。こんなとき補修したり、リサイクル部品を使って直せば、修理代をグリーンと減らすことができます。

このように、地球環境にもお財布にもやさしい、「補修」と「リサイクル部品」を活用していただくために J A 共済自動車指定工場協力会としても、J A 共済のリボンキャンペーンの取り組みに協力し、リサイクル部品の活用など環境に配慮した事業活動に取り組んでいます。



ドライブレコーダー【DR】

1 開発の背景

私たちの生活の中で、車を運転する機会は非常に多くなっています。昨今のあおり運転による事故報道を受けて、ドライブレコーダーが注目を集めています。万が一の事故に遭遇してしまった際の備えとして、状況映像を記録できるドライブレコーダーに消費者の関心が集まっていることが背景にあるようです。事故は加害事故だけでなくもらい事故もあります。いつ事故の当事者になってもおかしくない状況です。もしものときにご自信やご家族を守ってくれるのがドライブレコーダーです。

2 開発の経緯

飛行機事故が起きた場合には通称ブラックボックスといわれるフライトレコーダー（FDR）とコックピットボイスレコーダー（CVR）が回収されれば、事故の真相はほぼ解明されます。このフライトレコーダーと同様の目的で開発された車載式画像記録装置がドライブレコーダーです。元々はタクシーやトラックといった運輸業界のニーズから生まれた商品ですが、その有用性から近年は一般向けにも広く普及しています。

3 ドライブレコーダーの使い道

ドライブレコーダーは交通事故発生時の責任の所在を明確にする目的で使用されますが、他にも観光先を記録したりドライブ映像をインターネットで配信したりもできます。また、長時間運転や急発進、急ハンドルなども検知してくれるので運転支援としてドライバーの安全運転をサポートするなど、多目的に活用できます。

4 ドライブレコーダーの役割

ドライブレコーダーは運転中の映像や音声などを記録することができるので、万が一の際の備えになるだけでなく本人や家族の運転について振り返ることができ、安全運転への意識改革にも役立ちます。

常に見守られているという意味では、ドライブレコーダーは第二の共済・保険と言えます。

5 ドライブレコーダーの充実の機能

昨今のドライブレコーダーは、買い求め易い価格のものが多く、機能も充実しています。

●画質

ドライブレコーダーを選ぶ上で大切なポイントが「画質」です。「画質」は次のような要素で構成されています。

・録画画素数

ナンバープレートが読み取れる画素数のものをお薦めします。これは「フルHD」（画素数的には200万画素以上）や「HD」と呼ばれています。

・F値

値が小さいほどレンズは明るくなり、暗いところでも明るく撮影ができます。

・フレームレート

一秒間あたりの記録コマ数ですから、数字が大きいほど滑らかな映像になり、記録漏れの心配がなくなります。

●駐車時記録

走行中の常時記録に加え駐車時で起きたことを、自動的に記録する機能です。車体に加わったG（加速度）センサーが検知して録画を始めます。エンジン停止後も録画が継続されるモデルもあります。駐車時の当て逃げやイタズラにも対処できます。

●バックアップ電源

事故により電源喪失で録画機能が停止したり、データが壊れて再生ができなくなってしまう、バックアップ電源を搭載している機種は、その瞬間のデータを記録することができます。バッテリー方式の電源が強力です。

●イベント記録と手動記録

車両に衝撃が加わった時Gセンサーが検知し、その前後の映像を「上書き禁止」データとして常時録画とは別フォルダーに保存します。事故対策として重要な機能です。また、手動記録機能は録画したい時に手動で操作して、個別に保存できるので便利です。

●ビューワソフト

多くのモデルには専用再生ソフトが用意されていて、これを使用することで記録した映像の解析・表示ができます。例えばGセンサーの検知状況の確認やGPS搭載モデルであれば走行軌跡や走行速度の確認ができます。

6 ドライブレコーダーの商品例

製 品	i-safe 1	i-safe2	i-safe Separate	DN-PRO III
外 観				
有効画素数	100万画素	200万画素	100万画素	200万画素（内側:30万画素）
目安記録時間 （同梱8GBマイクロSD利用時）	1H-9H	1H-5H	1H-9H	3H-24H （※3H-10H）
特 徴	液晶モニター付き 駐車監視（別売）	液晶モニター付き 駐車監視（別売）	カメラ分離型 液晶モニター付き 駐車監視	室内カメラ接続（別売） 簡易日報出力 ウィンカー・ブレーキ信号 取得

■掲載商品にかかるお問い合わせ先

株式会社 デンソーセールス 〒150-0046 東京都渋谷区松 2-15-13

T E L : 03-6367-9666（代） HP : <https://www.denso-sales.co.jp/contact/>

※（）内は、2カメラ使用時の目安時間



スバルの歩行者保護エアバッグって？

現在の自動車では、歩行者と衝突した際、歩行者の頭部や脚部への傷害軽減が求められていることから、車体前面の各部に衝撃を吸収する構造（歩行者傷害軽減ボディ）が採用されています。

また、ここ数年では、頭部への衝撃を緩和するものとして、衝突時にボンネット後方が瞬時に持ち上がる装置（ポップアップフード）の採用が進んでいます。この様な中、さらなる傷害軽減装置として新型スバル インプレッサ（GT系）では、歩行者保護エアバッグを国内で初めて採用し、全車に標準装備しました。

今回は、歩行者保護エアバッグの構成部品や作動概要、エアバッグ作動時の交換部品や点検箇所についてご紹介します。

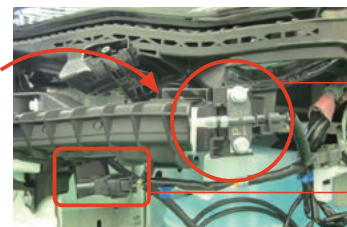
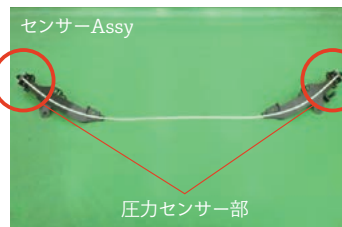
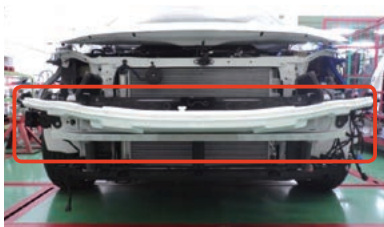
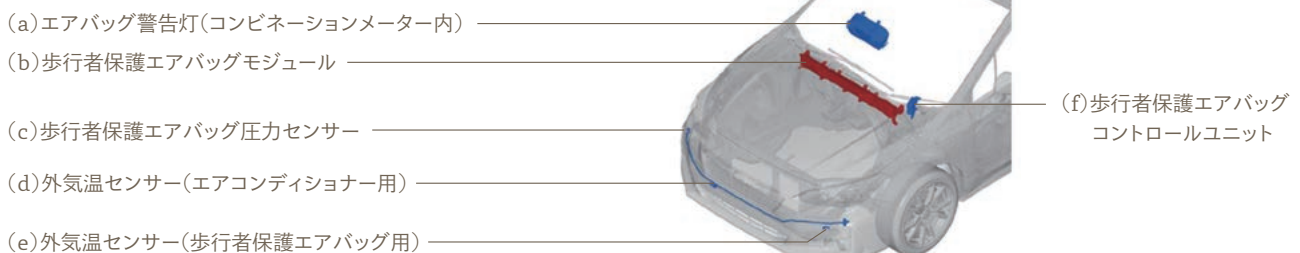


構成部品と作動概要

フロントバンパ内（エネルギーアブソーバーの前面）に装着されたシリコンチューブが衝突時に変形することによって生じる圧力変化を、左右の圧力センサーで検出します。この圧力変化に応じて、歩行者保護エアバッグコントロールユニットが歩行者との衝突と判定した場合に、歩行者保護エアバッグを作動させます。

衝突判定においては、フロントバンパなど樹脂部品の硬度が温度により変化するため、2つの外気温センサー（A/C用とエアバッグ用）で圧力変化の補正を行っています。

また、歩行者保護エアバッグは、車速が25～60km/hの範囲で作動します。



圧力センサー部

外気温センサー
（歩行者エアバッグ用）歩行者保護エアバッグ
モジュール

作動前



作動後

歩行者保護エアバッグが作動した際に交換が必要な部品

インプレッサのメーカー修理書には、歩行者保護エアバッグ作動時の交換部品は、次のように指示されています。

歩行者保護エアバッグ
コントロールユニット

歩行者保護エアバッグ圧力センサー

歩行者保護エアバッグ
圧力センサーカバー

歩行者保護エアバッグ
圧力センサーブラケット

歩行者保護エアバッグモジュール

エネルギーアブソーバー

エアバッグセンタブラケット

カウルパネルAssy

また、上記の部品以外にも、目視点検し損傷があった場合のみ交換が必要とされている部品は、次のとおりです。

ワイパーアームAssy

外気温センサー

フロントガラス

交換部品につながる車両側の
ハーネスおよびコネクター

フロントフードパネル

< 参考 >

JA損調㈱で歩行者保護エアバッグを強制作動させる実験を行った際の事例を紹介します。

これはあくまでも一事例ですので、実際に歩行者保護エアバッグが作動した車両が入庫した際は、各部を注意深く確認してください。

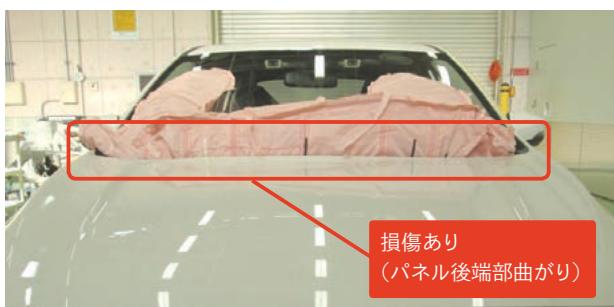
ワイパーアーム、センタカウルパネル



ワイパーリンク



フロントフードパネル



フロントガラス



地区別協議会 平成29年度 JARIC 地区別協議会が開催されました

平成29年度JARIC地区別協議会が例年通り全国6地区において下図の日程で開催されました。各地区の活動状況・各県独自の取り組み状況の報告に続いて、次年度の事業計画等について活発な議論がなされました。

今後、平成30年度以降の事業計画を策定することとしており、協力会活動のさらなる活性化に努める方針です。また、今回の地区別協議会の開催にあたり、幹事会を担当していただいたJARIC各県本部ならびにJA共済連各県本部の多大なるご協力につきまして、誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。

地 区	幹事県	日 程
東北・北海道地区	宮城県	11月 6日(月)～ 7日(火)
関東・甲信越地区	山梨県	9月14日(木)～15日(金)
東海・北陸地区	岐阜県	11月10日(金)～11日(土)
近畿地区	滋賀県	10月 3日(火)～ 4日(水)
中国・四国地区	島根県	10月30日(月)～31日(火)
九州地区	佐賀県	11月28日(火)～29日(水)

～2017年4月より、社名を変更しました～

JARICでは、自動車損害調査の適正化および効率化に資するため、コグニビジョン株式会社(旧アウトダテックス株式会社)と「JARIC会員導入支援」の仕組みに基づき、利用料の定価20%レスをつうじて、ソフトの普及拡大を行っています。



今後、新たな社名とともに新たな技術や分野にも挑戦し、よりお客さまのお役に立てるシステムや価値の高いデータのご提供を通じて、自動車関連業界、損害保険業界、そして社会に貢献する、時流を創り出し選ばれ続ける企業を目指してまいります。

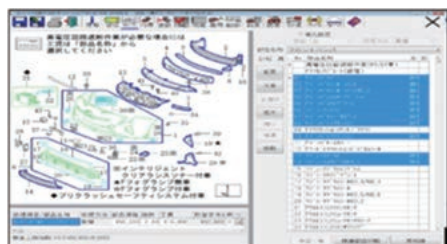
【2017年4月3日 日刊自動車新聞 第8面】

社名変更に伴い
商品名も
変更しました。

事故車修理費見積りシステム



タッチパネルにも対応♪



JA 損調の鑑定士も日頃から「コグニセブン」を使用しています!

●部品図をクリック

部品代と作業工賃が自動計算!!

●コグニフォトベース完全連動

画像と見積書を損害保険会社・共済組合さまへ簡単伝送! ※一部除く

●技術情報を閲覧

構造調査シリーズやボデー寸法図などの各種情報を集録!!

【コグニビジョン株式会社】 営業部営業課 JARIC 担当 03-5351-1901